



原点 に立って、 未来 へステップ

■今月の強調目標 評価

2015-2016 年度
東日本区理事通信
第 12 号
2016年6月10日発行

理事メッセージ 東日本区理事 渡辺 隆

いよいよ今年度最終号の理事通信となりました。「原点に立って、未来へステップ」の方針を立て、将来、未来に向けて結果が見いだせたか、大いに疑問が残っています。

東日本区は部そしてクラブが中心になって、活動すべきとお願いし、部の強化、活性化は部長のリーダーシップによって、各部署が大いに盛り上がったように思います。

会員増強について、会員数902名でスタート、原点を見つめ、東日本区設立当初の1,246名を目指しました。お陰さまで、石巻広域ワイズのチャーターなど会員皆様のご努力で74名の新会員をお迎えすることが出来ました。また、ヤングメンバーの区費補助制度を「東日本区大会登録費」の補助をすることに改められました。

地域奉仕活動におきまして、事業主任の斬新な発想により、各クラブのCS活動を写真によって報告をいただき、東日本区大会で多くのクラブの活動を一堂に拝見することが出来ました。

国際・交流事業では、RBM運動を行政に理解を求め、多くの献金をいただく事が出来ました。また、BFフルグラント代表として、東京サンライズ・小山久恵さんが一カ月間オーストラリアを訪問されました。

ユース事業につきましては、京都で行われたアジア地域大会でのアジア地域ユース・コンボケーション(AYC)参加、STEP事業でロシアからの少年を東西日本区の有志の方にホストファミリーとしてお世話をいただきました。また、次年度台北で開催される国際大会

でのインターナショナル・ユース・コンボケーション(IYC)に各クラブから推薦をいただいた6名の若者を派遣することになりました。

東日本区として、以上のような事業主任、各部長の連携で、多くの事が各クラブにもたらされ、一年間が盛り上がったことに感謝申し上げます。

しかし、すべてが完結したわけではありません。特に会員増強につきましては、毎年度のたゆまぬ努力が欠かせません。ぜひ、次年度もこの「永遠のテーマ」に向けて、活動されますことをお願いいたします。

さて、今年度の集大成とも言えます長野での東日本区大会ではこのたびの熊本地震で被災された中で、西日本区次期理事・岩本悟様をはじめ、次期区理事事務局の皆様も駆けつけていただき412名の参加をいただきました。

大会前日のゴルフ大会・前夜祭・役員会、当日の代議員会・区大会、そして翌日の表彰・理事引継ぎ式を通じ、新緑に包まれた長野善光寺は快晴に恵まれ、すべてが「No Excuse」の中で行われました。

6年前にチャーターした長野ワイズ12名で、長野県特に善光寺を中心に長野市の文化を理解頂ければと企画されたプログラムでした。お楽しみいただけでしょうか。「東京」「札幌」「長野」はオリンピック開催都市です。しかし、長野にはYMCAが存在していません。我々はこの大会を開催できたことを通じ、長野市にワイズ・YMCAを知っていただく努力をしていきます。また、全国のワイズの方々に長野ワイズへより一層のご支援いただけますことをお願いいたします。

書記報告

第4回東日本区役員会

書記 仙洞田安宏

今年度最後となる第4回役員会が東日本区大会前日の6月3日(金)、長野市の善光寺・玄証院で開催されました。

議案審議においては、以下の議案が審議され、いずれも承認されました。

- ①2015-2016年度東日本区年次報告及び行政監査報告
- ②2015-2016年度東日本区中間決算及び会計監査報告
- ③ヤングメンバーに対する東日本区大会登録費補助制度新設承認の件
- ④東日本区定款見直し委員会設置承認の件
- ⑤第19回東日本区大会聖日礼拝献金贈呈先変更(東日本大震災支援募金と熊本地震支援に)
- ⑥次年度の次々期理事候補者指名

2015-2016 年度年次代議員会

6月4日(土)、長野市・若里市民文化ホール会議室において開催されました。代議員数76名に対し、出席者56名、委任状7名で、定足数51名を満たし成立。

下記議案がいずれも承認されました。

- ①2014-2015年度 決算報告および会計監査報告
- ②2015-2016年度 年次報告および行政監査報告
- ③2015-2016年度 中間決算および会計監査報告
- ④東日本区会計決算・監査報告の承認方法変更
- ⑤次年度の次々期理事、次期監事候補者指名→次年度次々期理事は宮内友弥さん(東京武蔵野多摩)、次期監事は久保田貞視さん(東京八王子)
- ⑥2016-2017年度 東日本区理事方針
- ⑦2016-2017年度 東日本区役員
- ⑧2016-2017年度 東日本区会計予算
- ⑨第21回東日本区大会ホストクラブ→沼津クラブ

部
ing会員
増強

石巻広域クラブ チャーターナイト 北東部部長 中川典幸(仙台)

5月28日(土)、宮城県石巻市の石巻グランドホテルに於いて、石巻広域クラブのチャーターナイトが行われました。

来賓に石巻市長の亀山紘様、石巻商工会議所会頭・浅野亨様、石巻社会福祉協議会会長・大槻英夫様、社団法人シャロームいしのまき・大林健太郎様、東北ヘルプ理事・中澤竜生様、日本YMCA同盟総主事・島田茂様、仙台YMCA会長・菅野健様、仙台YMCA総主事・村井伸夫様、仙台YMCA副総主事・松田美彰様、仙台

YMCAホテル製菓専門学校校長・加藤雄一様や、東西日本区の東日本区理事・渡辺隆様、西日本区直前理事・松本武彦様をはじめ、多くの役員の方や全国のワイズメンの方々総勢約100名の方々が参加されて盛大に行われました。

石巻広域クラブのメンバーは総勢21名でスタートすることとなり、東日本区理事の渡辺様の入会式で正式にワイズメンズのメンバーとなりました。

チャーターナイト終了後は、同じ会場で懇親会が行われ、新メンバーが所属する「あじわい会」の方々の雀踊りなどが行われ、石巻広域クラブメンバー21名との交流が図られました。



(仮)東京多摩みなみクラブ設立総会

東新部部長 伊丹一之(東京むかで)

東京まちだクラブ25周年、東京コスモスクラブ20周年を記念して、両クラブがスポンサーとなり、昨年11月より毎月、設立準備会を重ねてきました「東京多摩みなみワイズメンズクラブ」は、5月22日(日)午後3時より、多摩センターにある「コンティ多摩センター」2階において設立総会を開催しました。設立メンバーは15名で、そのうち新入会員11名、移籍会員3名(東京1、東京コスモス2)、担当主事1名です。

設立総会は、後藤邦夫東京まちだクラブ会長の点鐘で開会、両スポンサークラブ会長が挨拶、伊藤幾夫設立準備委員長の設立経過報告と続き、メインプログラムである設立総会議事に入りました。田中博之さんを議長に、小早川浩彦さんを書記に選出、クラブ会則、クラブ予算、そしてクラブ役員をそれぞれ承認しました。続いて、新クラブメンバーが一人ずつチャーター申請書に署名を行いました。

祝辞では、渡辺隆東日本区理事、菅谷淳東京YMCA副総主事、伊丹一之東新部部長が壇上に立ち、それぞれの立場からお祝いの言葉を述べました。

最後に、新クラブの石田孝次会長より、力強い挨拶があり、権藤徳彦東京コスモスクラブ会長の点鐘で設立総会を閉じました。

懇親会は、1階ラウンジに会場を移し、小野実担当主

事の司会で行われました。太田勝人東新部直前部長の祝辞、新クラブ藤田智会員による食前の感謝、利根川恵子東日本区次期理事の乾杯で、ビュッフェパーティーとなりました。

ここで新クラブのメンバー全員が壇上に上がり、田中博之新クラブ書記から一人ずつ紹介が行われました。その後のスピーチタイムでは、栗本治郎次々期理事、細川剛東新部次期部長、宮内友弥武蔵野多摩クラブ会長、久保田貞視東京八王子クラブ直前会長、関喜一郎(仮)石巻広域クラブ会員、谷治英俊東京まちだクラブ会員から一言をいただきました。

最後に、綿引康司新クラブ副会長よりお礼の言葉があり、YMCAの歌、伊藤幾夫新クラブ副会長の閉会の言葉をもって、全プログラムを終了しました。

なお、チャーターナイトは7月17日(日)、16時から、「コンティ多摩センター」において開催されます。





横浜つづきクラブ 10周年記念例会シンポジウム報告

～東日本大震災 あれから5年今後の支援を考える～ 今城 宏子(横浜つづき)

5月21日(土)富士山YMCAにて開催された、横浜つづきクラブ設立10周年記念例会のメインプログラムである標記シンポジウムの報告を致します。

ワイズ・YMCAとして今日まで継続してきた様々な支援活動を今後どのように考えるのか、被災地の現状を再認識し、方向性を模索したい。

・コーディネーター:山添 訓(横浜つづき・横浜YMCA)

・パネラー:村井伸夫・仙台YMCA総主事、濱塚有史・盛岡YMCA総主事

・体験談:小川圭一さん(東京世田谷)、井上修三さん・大関靖二さん(もりおか)

●村井仙台YMCA総主事の報告

1. ムービーで震災直後の様子(南三陸町、東松島町、山元町、仙台YMCA他)、現在の様子、横浜つづきクラブの山元町「みやま荘」「南保育所」訪問の様子、そして現在の「みやま荘」「南保育所」の様子が紹介された。

2. 津波被災地の現状について宮城県の資料から市町の震災復興計画、主な取組状況(住居、医療・福祉関連、経済・雇用関連等)の説明を受けた。

3. 原発事故被災地の現状についての報告①「放射線被害には触れないで」帰れないことが分かっている諦めている人々は洗濯物を外に干す②帰還可能地域の不満－住居の問題、病院や店舗がない、子供のいる人は帰れない③格差の発生－帰れない地域は東電からの補助金が多額出る。

4. 被災地支援の方向性として次の点を挙げられた。①忘れない－原発から30km以内に居住の方の願い②心のケア活動の必要性－行政からの補助が打ち切れケアができない③視察、観光、物産購入を行う④災害公営住宅支援－当該自治会に援助金を出す⑤被災地行事支援－小学校や老人会のイベントを支援する⑥祈り－牧師の方からの願い

最後に被災地の中高生達に奉仕する機会が与えられた－南三陸町の高校生をYMCA費用負担により熊本に派遣－ことが報告された。

●濱塚盛岡YMCA総主事の報告(画像を用いて)

宮古の子供たちのソリ遊び、サマーキャンプ、田沢湖での体験(海で泳げない子の水泳体験等)様々な活動を通して宮古を愛する青少年の育成事業をNPO(マリーンフィールド他)と行っている。高校生育成－人間関係トレーニングを行い大学生のボランティアが一人ひとりの子と向き合っていくキャンプを通して成長を支援する。学生YMCAとの交流も行う。大切なことは①他者の悲しみを自分のことのように②他者の喜びを自分のことのように思える③自分のしてほしいことを、してあ

げられるようになること。青年達(東京の、現地の)を巻き込んでいく支援を目指す。

●ワイズメンズクラブの体験から

・小川圭一さん(世田谷クラブ)

東京YMCAのコーディネートで昨年10月まで14回「歌声広場」で石巻訪問。「悲しい人と共に泣く」体験。今後もできることを続けていく。

・井上修三さん・大関靖二さん(もりおかクラブ)

自然にはかなわない。とにかく逃げましょう。拠点作りが大切。三原則(耐震住宅、通電火災の防止、車の渋滞解消)を考える。

●まとめ(山添)

これからの支援について方向性を示唆頂いた。具体的には村井仙台YMCA総主事の「4」を考えていってはどうか。地域の中でどのように支援していくかは日頃からの関係性が大切。「自助・共助・公助」といわれているが、熊本では備えがなかった。

支援金について直接熊本YMCAに送れないかとの質問に対し東日本区からすぐに100万円を送ったこと、仙台YMCAは5年前の被災時に神戸YMCAが300万円(使途自由)持参され助かったことに鑑み現金をスタッフが持参したことなど報告された。

最後に京都YMCAボランティアからの質問、「信頼関係を築くためどのような『ことば』が良いか避けるべきか」に対し村井総主事からの答え、「すぐに結果は出ない、花は咲かない。しかし伝わる。種まき－後で心の中にホックリと『悲しいこと、つらいこと』には触れない。引き出さない」

自分の所におこったら、と思って備えておく。コミュニケーションが大切。



※なお記念例会は、19クラブから47名が参加し、シンポジウム後のバーベキューパーティーで、そして宿泊組は夜遅くまで懇親を深めました。



御殿場クラブ30周年記念例会

富士山部部长 久保田康正(伊東)

5月29日(日)、御殿場クラブ30周年記念例会がYMCAの聖地・東山荘で127名の参加のもと開催されました。

オープニングで富岳太鼓、昨年日本一に輝いた小山高校ドリルダンス部の演技で迎えてくれました。記念事業では御殿場市主催ツバキサミットが東山荘を中心に開催されるのを記念し、ツバキ30本寄贈の目録が御殿場市長に贈呈されました。また伊東クラブ・富士クラブ・富士宮クラブより東山荘100年基金が東山荘堀口所長に贈呈されました。

懇親会では前原実行委員長の友人の皆様による日本舞踊があでやかに披露され、懇親会に華をそえて

いただきました。また御殿場クラブメンバー長田和子さんの東山荘を描いた油絵が東山荘に寄贈され、IBC台南クラブ・DBC奈良クラブ・名古屋東海クラブと懇親を深めなごやかなうちに閉会となりました。



第19回東日本区大会が、6月4日(土)・5日(日)の両日、長野市・若里市民文化ホールを会場に、412名の参加のもと開催されました。

長野少年少女合唱団の歓迎の歌で開幕、バナーセレモニー、来賓の祝辞(長野市・樋口博副市長、島田茂日本YMCA同盟総主事、エドワード・オンアジア会長、遠藤通寛西日本区理事)の後、メモリアルアワーで故人を偲び、部長、メネット委員長、そして熊本地震報告が岩本悟次期西日本区理事からありました。

大会キャッチコピーの「ワイズにひかれ善光寺」の通り、天台声明・善光寺詣りの絵解き口演を盛り込んだ「長野プレゼンツ」は、長野の地域文化に触れる良い機会となりました。

二日目は、事業主任の報告と表彰式、それに、理事



および役員交代式が滞りなく行われ、利根川恵子新理事の力強い所信表明がありました。最後に大会旗が長野クラブから次年度ホストの川越クラブへ引き継がれました。なお、ロビー、晩餐会で熊本地震支援募金が募られた他、「CS写真コンテスト」の作品が展示され、投票が行われました。また、期間中看護師が常駐しましたが、大きな事故や急病も出ず、無事に閉会しました。(大会の詳細報告は、別途発行予定です)



YMCA だより

東日本区連絡主事 光永 尚生

東山荘グッズ注文受付中

日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘では、2015年の100周年記念事業を継続しています。その中には、東山荘募金を皆様にはお願いしてきました。現在、73%(2016年5月31日付)の進捗率です。併せて、東山荘のロビーで販売しております、東山荘グッズの注文販売もお願いいたします。

カタログ、注文書を用意しております。遠藤・横山幹までお問い合わせの上、ご注文いただければ、まとまった数の販売を承ります。(tel)0550-83-1133

東日本区大会担当主事会

去る、6月3日(金)~5日(日)に長野市で行われました、第19回ワイズメンズクラブ東日本区大会では東日

本地区の7YMCAから13名の担当主事が参加して担当主事会を開催しました。会場は、長野オリンピックのIOC会議の会場でしたが、厳かな気持ちで会議を実施しました。議題内容は、2015-16年度のYMCAとワイズメンズクラブの協働の報告、日本YMCA同盟からのワイズメンズクラブ支援金の使途とその成果に関する報告、並びに意見交換を昼食を挟み行いました。

特に、意見交換では、各地域、各YMCAが、ワイズとの協働に際して、どのようなアプローチで活動を進めていくかというそれぞれの長を共有したことは、今後の新たなヒントになりました。また、YMCAからワイズへの要望、ワイズからYMCAへの要望というような、双方向の意見交換の場の設置、交流会の開催など、共通の認識が確認できました。ネットワーク型の活動と、ワーク型、支援型など様々なタイプのアプローチがあってもよく、まさに多様性の時代を感じさせる時間となり有意義でした。



ヒストリアン 仙洞田安宏 (甲府)

この1年間、大勢のワイズメンとの交わりの中で小耳に挟んだ話題を、思いつくままに書いてみました。

一冊の本

先日の東日本区大会で、利根川恵子さん(川越)が新理事としての所信表明をした際、「川越クラブの工藤徹さんがご存命だったら、この日を一番喜んでくれたと思う」という趣旨のお話をされました。工藤さんは10年前不慮の事故で亡くなれましたが、事故当時、一冊の本を持っておられたそうです。その本は東京西クラブの吉田明弘さんがお貸していたものだということを、吉田さんが書かれていました。書名に興味があったのでお尋ねした所、「本間俊平の生涯」(三吉明著・福音館書店)という本であることを知りました。

本間俊平という人物のことは知りませんでしたので、インターネットで調べましたら、なかなか面白い人物のようです。Amazonで検索しましたら、購入するのに躊躇する価格で驚きました。

ところで、工藤さんが亡くられたのは、2006年9月15日です。この日は奇しくも松本クラブの伊藤義則さんが急逝された日でもあります。翌日の9月16日の伊藤さんの通夜の席で、工藤さんの訃報を知ったのを覚えています。ちなみに9月15日は私の誕生日でもあります。

会議のネーミング

あずさ部の評議会に冠名がつくことは、以前この理事通信でも紹介されていましたが、これはあずさ部がスタートする時に、今年度の理事である渡辺隆さんが、当時のあずさ部書記として提案したものでした。このよう

に会議名にネーミングがあると、色んな意味で楽しめるのではないかと思います。

東京むかでクラブでは、年度始めのキックオフミーティングを「下田会議」と称して開催しています。メンバーの別荘が下田にあり、当初はそこで泊まり込みで行ったことから名付けられました。ご存知のように、日米関係の民間会議をもじってのネーミングです。東京山手クラブの役員会(第2例会)は「ヨルダン会」と言います。“夜、談ずる”ことからですが、中東の香りを感じるのは私だけでしょうか。

この他、富士五湖クラブが富士山五合目で行っている「富士山例会」や、松本クラブと東京武蔵野多摩クラブが長野県・原村の幼稚園で毎夏合同で開催している「原村例会」などがあります。

会長バッジを集める男?

以前このコーナーで「チャーターバッジを集める男?」という小文を載せました。今度は会長バッジを集める男?をご紹介します。同一クラブで何度も会長を務める方は結構おられると思いますが、これが全て違うクラブで会長をされ、しかもそれが5クラブの会長を務める、という方は滅多にいないと思います。

沼津クラブ(1977-78)、東京目黒クラブ(1987-88)、仙台クラブ(1992-93)、東京コスモスクラブ(1998-99)、そして次年度横浜つづきクラブの会長を務める、林 茂博さんです。約40年間にわたり、北は仙台から、南は沼津まで、現在の4部にかけて会長職を担ってきました。

それぞれのクラブの個性や地域性も当然違うと思いますが、それを乗り越えてリーダーシップを発揮される秘伝を聞いてみたいと思います。



5月の新入会者紹介

☆饗場 裕さん(甲府21)

☆青木 満里恵さん・阿部 安子さん・石川 光晴さん・石田 信正さん・遠藤 元気さん・菊地 信忠さん・木村 光禅さん・木村 純さん・木村 哲夫さん・黒田 敦さん・櫻井 美智江さん・清水 弘一さん・末永 博さん・関 喜一郎さん・関川 祐一郎さん・千葉 徳正さん・千葉 雅俊さん・西村 富子さん・日野 峻さん・平井 孝次郎さん・山田 和佳子さん(以上:石巻広域=下線は転入会)



宇都宮クラブの船山恵子さんが、5月13日に男の子を出産されました。会員ご自身が出産したというのは、おそらくワイズ史上初めてのことでないかと思います。おめでとうございます。



BF代表来日中止

前号でお知らせした、チリからのBF代表は、ご本人の事情により、来日が中止となりました。

クラブ活動報告集

長野での東日本区大会の参加者の皆様には、「2015-2016クラブ活動報告集」という冊子(A4-26ページ)をお配りしました。東日本区各クラブのこの1年の活動報告を写真とともにまとめたものです。印刷発注部数の関係で、50部ほど残部があります。ご希望の方は書記までお申し込み下さい。(郵送料のみご負担下さい)

1年間ありがとうございました。

1年間理事通信をお読みいただき、ありがとうございました。今年度の理事方針である、「部の活性化」を意識して、部の情報を多く掲載するよう心掛けました。原稿を執筆いただいた部長さん、事業主査さんには、改めて御礼申し上げます。(理事事務局一同)